



特定非営利活動法人

## 地域たすけあいの会

(熊本県玉名市) <https://tiikitasukeainokai.wordpress.com>

地域住民による地域住民のための活動として、生活支援サービス、地域交流の促進、環境問題への取り組み、子どものための憩いと学びと活動の場づくり等を行い、明るく優しい地域社会づくりを目指していくことを目的に、1998年に設立された。相談者や利用者がボランティアや職員として団体の活動に参画する等、住民主体で活動を広げている。

### 助成テーマ

## Withコロナ時代の旧小学校を活用した「わたし」発のソーシャルインクルージョン拠点づくり

### 【事業内容】

地域たすけあいの会発足20年目に小学校の廃校後を地域の拠点として活用。人とのつながりを大切にする活動拠点が開始しました。中でもグラウンドを利用したフットサル・少年野球での貸し出し、児童用の遊具も設置。グラウンドゴルフ場としても活用しました。コロナ禍の中ですべての施設利用が中止となる中で、地域食堂、子ども食堂を月2回開催することができた。これまで地域に根差した活動を続けてきたことが新しい小田地域として実を結んだ成果となり、子ども・高齢者・障がいを持っている人・ひとり親家族の方々が一つになることができました。コロナ禍の中でも広いスペースの自由空間を利活用したたすけあい活動を継続的に実施している。

### 【事業の実績】

- ボランティア延べ人数：65人
- 受益者数：484人
- スタッフ・ボランティアの人数：21人
- プログラム実施回数：37回



### 【事業の成果】

- 公共施設や公園等が閉鎖される中、遊具の設置をすることで、子育て世代や子ども同士が安心して遊べる場を設けることができた。
- 地域食堂や子ども食堂を継続実施できたことで、近隣住民からの食材寄附、子ども食堂のネットワークと連携した食材の保管配送など、コロナ禍でも新しいつながり、参加、活動の機会を生み出すことができた。地域食堂は一般のボランティア、子ども食堂は学生ボランティア、たすけあい活動では年齢が高めの方と、さまざまな年齢の方に参加の場を作ることができました。

### 【今後の展望・課題】

オミクロン株の流行により、お祭りのような行事が実施できなかった。コロナと上手に付き合いながら、つながりを絶やさないう、地域食堂や子ども食堂、年末のもちつき、おせちづくり等継続しながら、小学校の施設や当団体の専門性を活かした活動を展開していきたい。